

第44回 北海イカダ下り | N空知川 実施要項



1. 趣 旨

北海道の母なる川～空知川イカダ下り～を通じて富良野の良さを満喫してもらうと同時に自然を大切にすることを老若男女が一同に会することにより、連帯感と精神的な人間性の回復をめざし、且つ自分の命は自分で守るという自己責任観念を育てていくことを目的とする。

また、あくまでも自然が相手なので、危険を少なくするためにレース方式はとらず祭り気分ではなく「アドベンチャー」であるということを根底に持って挑んでもらいます。

2. 日 程

大会日時 令和元年7月14日（日） 午前9時30分～午後3時00分

雨天中止

※ 少々の雨の場合は実施しますが、晴天であっても川の水量が多ければ中止します。

（中止の決定時刻 午前7時00分）

集合場所 布部大橋下河川敷

集合時間 午前9時30分（時間厳守）

開会式 午前10時45分

スタート 午前11時00分

コース 布部大橋→富良野大橋（島の下）……………約10km

参加資格 小中学生以上の泳げる者

（小中学生の参加は保護者同乗のこと）

3. 事故責任

空知川イカダ下りは、参加者全員が主催者となります。イカダ下りにおける事故は事故の当事者責任により処理し、呼びかけ人であるイカダ下りの会としては一切責任を負いません。

4. 参加資格及び乗船人員

① 高校生以上の健康な男女とする。ただし、高校生は保護者の同意書を必要とする。

② 小中学生の参加は保護者同乗を義務とし、同意書提出の上参加を認めます。

③ 当日、審査委員によるイカダ審査・適正乗船人員等の点検を受け、これに合格したイカダのみ出場できる。

④ 事故に遭遇しても、自分又は保護者で一切の責任をとれる者。

⑤ 乗船人員は1隻8人までとする。

5. 参加申込

○ 参加申込書及び誓約書に次の事項を記入のうえ申し込む。

（必要に応じて同意書にも記入、必ず押印のこと）

① チーム名（船名）

② リーダーの住所、氏名、職業及び連絡先の電話番号（携帯電話等）

③ 参加者の住所、氏名、及び職業（学年）

○ 申込期限

7月5日（金）

※ 準備の都合上、早めに申込み頂けると幸いです。

○ 申込先

〒076-0031

北海道富良野市本町2番27号 コンシルジュフラノ2F

（TEL 0167-39-2312）

（FAX 0167-23-2123）

富良野市役所商工観光課

※ FAX での申込みは可としますが、同意書は当日原本を必ず持参して下さい。

6. イカダの制作・運搬・解体

○ 制 作

① 自主制作（※ゴムボートやカヌー等でも参加可能です。）

② 規 格

・ 装飾囲いは三辺までとし、一辺は囲わないこと。

・ 浮力をチューブに求めるイカダは、4tトラックのチューブ6本で8人が限界である。（それ以下のチューブ方式はチューブ1本に1人を原則とする）

・ 各イカダにはスペアにチューブを1本以上用意すること。

③備 品

- ・イカダには必ず1.0m以上のロープを結び付けること。
- ・イカダには「さお」や「かい」を十分に用意すること。

- タイヤチューブ等は、各自、自動車整備工場等で手配することを基本とします。
- どうしても手配できない場合は、ご相談下さい。なお、イカダ下りの会として所有しているタイヤチューブも年々個数が減っており、お断りする場合があります。
- タイヤチューブをイカダ下りの会に無償で寄贈していただける方がおりましたら連絡いただくと幸いです。

○運 搬

出発場所には各自で午前9時30分までに搬入すること。

○解 体

- ①ゴールしたイカダは、自らの責任で持ちかえること。
- ②装飾品や備品等は一片たりとも残さず持ち帰ること。

7. 参加者の条件

- ①参加者は全員ライフジャケット、運動靴等を着用すること。
- ②小中学生乗船のイカダには、黄色の旗をつけること。

8. 禁止事項

- ①イカダでの飲酒
- ②イカダでの火気の使用（進行中のジギスカン等の火気）
- ③貴重品は持たない

9. 安全確認

- ①リーダーは参加者の健康、イカダの構造、水量、天候等によりイカダ下り実行の判断をすること。
- ②各イカダに必ずイカダ下り等の経験を有するリーダーをおくこと。
- ③万一転覆の場合は、川の流れに逆らわず足の立つところまで流され、泳いで体力を消耗せぬよう心掛けること。（200m以内に必ず浅瀬があります。）
- ④イカダに浮力の片寄り、破損等があったら小さなことでもいち早く岸辺か浅瀬にイカダを付け、補修すること。それでも不安を感じたらその場で中止すること。
（途中で中止した場合は近くにいるイカダに事務局まで連絡するよう伝言すること）
- ⑤危険・急流力所の通過に際し、前のイカダと衝突しない間隔を保つこと。

10. イカダ下りの終了

- ・あらかじめ指定した船がゴールした時点で終了する。

11. 美 化

- ・リーダーはイカダの後始末を完全に行うこと。
- ・河川を汚さない、傷めないよう充分配慮すること。

